

全肢P連結成50周年記念「京都大会」を終えて

全国肢体不自由養護学校PTA連合会

会 長 江 本 緑

(東京都立光明養護学校PTA会長)

特別支援教育元年といわれる今年、平成19年に当会は結成50周年を迎えました。

本年は酷暑の夏になりましたが、平成19年度第50回全国肢体不自由養護学校PTA連合会総会およびPTA・校長会合同研究大会「京都大会」は全国肢体不自由養護学校PTA連合会結成50周年記念大会として、8月19日・20日・21日の3日間をウエスティン都ホテル京都で開催いたしました。

例年、初日は役員会と打ち合わせをしておりましたが、記念大会のため1日目より、役員会、総会と会員研修を企画いたしました。この会員研修は全肢P連結成50周年記念特別企画として、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長藤木則夫氏をお招きし「新しい支援の風を」～障害者施策のこれからを考える～をテーマにお話を頂きました。

20日は開会式の後に記念公演として大蔵流狂言師^{しげやま}茂山千三郎氏による「日本人の笑い」～狂言「附子」より～トークと狂言ライブをお楽しみ頂きました。その後の全肢P連結成50周年記念式典へ高円宮妃殿下のご臨席を賜りました。ご来賓の方々とともに、各ブロックのこの10年間の活動をたたえた表彰状授与式への温かい拍手を頂きました。また、賜りましたお言葉には妃殿下のお心が感じられました。

続いては、分科会に先立ち基調講演を設け、文部科学省

初等中等教育局特別支援教育課長永山裕二氏を講師にお招きし「これからの特別支援学校のあり方について」お話しして頂きました。

分科会は〈子どもたちをとりまくネットワーク〉のもと「学校」「地域」「福祉」「労働」「医療」「機器」の6つの分科会が行われました。指導・助言者に各分野のご専門の先生方にご出席いただくこともできました。最終日のシンポジウムでは沖縄大会以後、開催して参りましたシンポジウムのまとめとして、特別支援学校におけるPTAの役割を考えてみました。筑波大学附属久里浜特別支援学校長であり、元文部省の調査官でもいらした西川公司氏にコーディネーターをお願いし、「肢体不自由教育のこれまでとこれから」を保護者の立場からと文部科学省の歴代調査官より、それぞれの立場から、医療的ケアなどを含む全肢P連の活動の歴史を振り返りながらお話いたしました。全体講評では各省庁の専門官と推進連盟の三浦和理事長より、お話頂きました。保護者の皆様へ向けて励ましのお言葉もあり、記念大会を締めくくることができました。

最後になりましたが、この記念大会を開催するにあたり、4年前から全国の各校より、積立て等のご協力をいただきました。さらには近畿ブロックをはじめ、運営にあたられた主管校の京都府立日向が丘養護学校ならびに共同主管校の京都市立呉竹総合支援学校のPTAおよび教職員の皆様のご尽力に、心より感謝申し上げます。



全肢P連結成50周年記念「京都大会」

全肢P 連結成 50 周年を迎えた古都に感謝して

全国肢体不自由養護学校PTA連合会副会長
東京都肢体不自由養護学校PTA連合会会長

東 ますみ

(東京都立八王子東養護学校PTA会長)

例年、異常気象がささやかれておりますが、今年はまた酷暑という言葉にふさわしい、本当に暑い夏でした。

その暑さの中、地形的にも夏が厳しい京都での大会開催とあって、参加するほうも勿論ですが、大会を運営される方々は、なお一層硬い決心をなされたのではないかと拝察いたします。まして50周年記念大会という事で、お心遣いも常ならぬ物がありだった事と存じます。

お膳立てしていただいた所に参加させていただいた身としては、ただただ感謝いたしております。

特殊教育発祥の地でむかえる50周年記念大会は、先人のご苦労に思いを馳せ、また、これからの子ども達の未来に希望を抱くにふさわしい大会だったと思います。

今の、この恵まれた教育環境に感謝するとともに、これからの子ども達のために何を残してゆけるのかが、本PTA連合会にとりましても大きな命題となる事を、再確認しております。

日常にあっては、ついつい我が子との暮らしに疲れてしまったり、将来への不安に戸惑ってしまったりすることもあります。こうして大会に参加して全国で頑張っている方々の情報やノウハウを伺う事で、一回り大きくなって、勇気を充電して帰ることができます。

「まだまだ、頑張れる。もっと、違う事もできる。」大会に参加するといつも、そういう、少し前のめりな気持ちになれるよう背中を押してもらっているような気がします。

そして、子どもたちが社会の中でのびのびと、生甲斐を持って生きていけるには？という課題に、少しワクワクするような

気持ちでチャレンジできる気がします。

全国大会は貴重な、勇気の源をいただけるところと言えるかもしれません。

もうひとつ、今大会での貴重な体験は、涼やかな寺院での切り取られたような静寂の時間でした。

京都駅に降り立った時から、やはり千年王城の地は空気が違うような気がして、木立で鳴きしきる蝉時雨も、東京とは違いくちか雅な感じがしました。先入観かもしれませんが。静かな山々に囲まれ、なだらかに続く街並はホッと心を休ませてくれました。

暑い盛りの時間に、建仁寺を訪れました。戸外は、まだ焼けつくような暑さでしたが、建物の中はひんやりと涼しく、開け放った扉からのぞく中庭の木立や石庭を渡る風が心地よく、時折チリンと風鈴がなり、せわしく回る心を静めてくれます。少しの時間ですが、心を解き放つ事でかえって、心が弾力を取り戻すのを感じます。東京へ帰ってからもこうした時間を大切にしようと思いました。

京都大会は二重の意味で、再生させていただいた気がします。自分を取り巻く環境から、少し離れてみるだけでも大会参加の意義はあると思います。

次回、岡山大会に、さらに沢山の方々の参加を促す一助になればと、拙い文とは存じつつ、一言感謝と感想を述べさせていただきました。

ありがとうございました。



高宮宮妃殿下ご臨席の記念式典

第50回(平成19年度) 総会報告

平成19年8月19日(日)、京都市ウェスティン都ホテル京都、瑞穂の間にて、平成19年度全肢P連総会が行われました。提案された議題は総て承認されましたので、以下の通り報告いたします。(司会 本部事務局長 佐竹京子)

1. 会長挨拶

全肢P連会長(東京都立光明養護学校PTA会長)
江本 緑

2. 新加入PTA紹介等

本部事務局長 佐竹京子

3. 議長選出

近畿地区 和歌山県立南紀養P会長
福田 学
中国・四国地区 広島県立西条特別支援学校P会長
須賀 由佳

4. 議 事

- 平成18年度事業報告
全肢P連会長 江本 緑
- 平成18年度会計決算報告
本部会計 工藤 明子
監事(東京都立府中養P会長)
高橋 史
- 平成18年度会計監査報告
全肢P連会長 江本 緑
- 平成19年度役員紹介及び承認
全肢P連会長 江本 緑
- 平成19年度役員代表 会長挨拶
全肢P連会長 江本 緑
- 平成19年度事業計画(案)
全肢P連会長 江本 緑
- 平成19年度会計予算(案)
本部会計 工藤 明子
- 表彰者・顧問の推薦と確認
全肢P連会長 江本 緑

5. 議長解任

6. 感謝状贈呈

平成18年度 第49回「岐阜大会」大会実行委員長
平成18年度全国肢体不自由養護学校PTA連合会理事
「岐阜県立関特別支援学校(岐阜県立関養護学校改め)前PTA会長」
奥田和子様
(株)損害保険ジャパン代表取締役
佐藤正敏様

平成18年度 事業報告

1. 役員会の開催

第1回役員会

平成18年8月20日(日)
於:長良川国際会議場

●主な審議事項

- 平成17年度事業報告、決算報告、監査報告
- 平成18年度役員案
- 平成18年度事業計画案、予算案
- 表彰者の確認および顧問の推薦
- 岐阜大会決議文(案)
- 次期全国大会(全肢P連結50回記念京都大会)について

第2回役員会

平成19年1月25日(木)
於:新宿区コズミックセンター 5階大会議室

●主な審議事項

- 「岐阜大会」報告
- 平成18年度事業・会計中間報告
- 「京都大会」の実施計画と役割分担について
- 平成19年度事業計画案・会計予算案について

2. 総会の開催

平成18年8月21日(月)
於:長良川国際会議場

●主な審議・承認事項

- 平成17年度事業報告、決算報告、監査報告の承認
- 平成18年度役員承認
- 平成18年度事業計画案、予算案の承認
- 表彰者の紹介および顧問の承認
- 感謝状の贈呈

3. 平成18年度 第49回全国肢体不自由養護学校PTA連合会総会及びPTA・校長会合同研究大会「岐阜大会」の開催

平成18年8月20日(日)～22日(火)

於:長良川国際会議場
主 題 『21世紀に生きる子どもたちの、生きがいと自立を支える特別支援教育・肢体不自由教育および社会づくりの推進のため、PTA活動はどうあればよいか』

(1) 記念鼎談

テーマ 『肢体不自由教育の「これまで」と「これから』』
全国特別支援教育推進連盟
理事長 三浦和氏
国立特殊教育総合研究所
前理事長 細村迪夫氏
全国肢体不自由養護学校PTA連合会
顧問 埴野兪氏
(全国肢体不自由養護学校PTA連合会 第4代会長)

(2) 分科会「子どもたちをとりまくネットワーク」

- 第1分科会 「学校」
- 第2分科会 「地域」
- 第3分科会 「福祉」
- 第4分科会 「労働」
- 第5分科会 「医療」
- 第6分科会 「機器」

(3) シンポジウム

「保護者から見た特別支援教育への期待と展望」
～国の動向をふまえて～

【コーディネーター】

全国肢体不自由養護学校長会長

(東京都立あきる野学園養護学校長) 池田敬史氏

【提案者】

岐阜県立関養護学校PTA

岐阜県立岐阜希望が丘養護学校PTA

【シンポジスト】

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

特殊教育調査官

下山直人氏

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課

福祉専門官 茅根孝雄氏

厚生労働省職業安定局高齢・障害者雇用対策障害者雇用
対策課 障害者雇用専門官 市川浩樹氏

(4) 全体講評

全国特別支援教育推進連盟

理事長 三浦和氏

4. 会報の発行

- (1) 第77号 会報 平成18年7月15日 20,000部発行
- (2) 第78号 会報 平成18年10月15日 20,000部発行
- (3) 第79号 会報 平成18年12月15日 10,000部発行
＜全国大会（岐阜大会）特集号＞

5. 全国心身障害児福祉財団事業

【国庫補助事業】

《保護者研修会》

●中部ブロック 岐阜県立関養

肢体不自由教育の「これまで」と「これから」

8月21日(月) 600名

●中部・四国ブロック

高知県立高知若草養（土佐希望の家分校）

「子育て みんなの力でパワーアップ」

8月25日(金) 30名

●東京都 東京都立府中養

「安全に、美味しく食べて、すてきな笑顔!!」

11月22日(水) 103名

《ボランティア研修会》

●北海道・東北ブロック 札幌市立豊成養

①「重度重複障害児の介助及び車いすの扱い方」

②「和太鼓と私と障害児のかかわり」

12月9日(土) 46名

●九州ブロック 長崎県立諫早東養

①講話「障害のある人たちと共に生活するために」

②実習「障害のある人の活動(行動)の支援の仕方」

③障害ある子ども達とのレクリエーション活動

7月29日(土) 90名

《在宅重度障害児集団療育事業》

●北海道・東北ブロック 青森県立八戸第一養

①音楽あそび(リトミック、エプロンシアター他)

②名曲を聴こう(バイオリン演奏他)

③懇談会「地域で生きる」

③楽な姿勢づくり(ポジショニング、呼吸法)

8月5日(土)～6日(日) 46名

●関東・甲越ブロック 東京都立光明養

①障害のある子どもたちの療育 ―作業療法士の立場から―

②リズムに合わせて体を動かそう

7月31日(月)～8月1日(火) 53名

●九州ブロック 熊本県立松橋養

「障害児の口腔内ケアについて」

8月1日(火)～2日(水) 47名

【社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団主催事業】

《競輪場を利用した地域指導者養成研修会》

●栃木県宇都宮市 9/9(土)～10(日)

●岐阜県大垣市 10/20(金)～21(土)

●福井県福井市 10/20(金)～21(土)

●広島県広島市 12/9(土)～10(日)

●徳島県小松島市 19/1/13(土)～14(日)

●大分県別府市 19/2/3(土)～4(日)

6. 全肢P連結成50周年記念大会関係

●50年史編集会議

第4回 4月27日(木)、第5回 12月14日(木)

●宮内庁へ 4月13日(木)

●京都(校長)と京都大会の打ち合わせ 6月22日(木)

於：新宿プリンスホテル

●京都市長、京都市教育委員会と京都府教育委員会へご挨拶
ならびに記念大会への協力要請 7月8日(金)

7. 関係団体事業および行事への参加

(1) 関係各省庁への陳情など

●文部科学省特別支援教育課へ

4月21日(金)・6月23日(金)・9月21日(木)

●宮内庁へ京都大会の説明 4月13日(木)

●厚労省 社会・援護局へ

5月1日(月)・9月21日(木)

●厚労省 障害者雇用対策課へ

5月1日(月)・9月21日(木)

●江本新会長、推進連盟理事長へ 5月1日(月)

●都肢P連総会へ 5月11日(木)

●東京都立あきる野学園養護学校10周年行事へ

●障害者週間の集い 12月6日(水)

於：有楽町朝日ホール

(2) 全国特別支援教育推進連盟理事会

●第30回全国特別支援教育振興協議会(文科省共催)への

平成 18 年度 会計決算報告

<収 入>

単位 円

項 目	18 年度予算	18 年度決算	摘 要
前年度繰越金	293,134	293,134	
会費	5,996,550	5,996,550	350 円×17,133 人 在籍児童生徒数 (分担金)
日本自転車振興会補助金	859,000	859,000	日本自転車振興会補助金 (会報第 76 号大会号 1,146,600 円の中の補助分)
国庫補助事業費	1,390,000	1,390,000	保護者研・ボランティア研・在宅重度障害児集団療育
社会福祉医療機構助成費	0	0	平成 18 年度は事業実施無し
寄付金	0	0	
雑収入	400,000	389,975	保険手数料、オムツ手数料、利子等
合 計	8,938,684	8,928,659	

<支 出>

項 目	18 年度予算	18 年度決算	摘 要
会議費	400,000	332,665	大会 200,000 円、役員会 50,000 円×2、その他会議等
研修費	750,000	807,132	大会 50 万、事務局大会参加費、関係団体研修等
会報費	2,000,000	1,951,425	77 号・78 号・79 号 (全国大会報告集 1,146,600 円)
関係団体分担金	139,000	139,000	推進連盟 91,000 円、美術展 40,000 円、日肢教研 8,000 円
渉外費	50,000	46,350	香典、他団体祝い金、周年行事出席・他
地区助成費	420,000	420,000	70,000 円×6 ブロック
交通費	350,000	200,320	会長・事務局員大会参加費、一般交通費等
通信費	650,000	584,948	電話、郵券、会報郵送費、会費振込み代、宅急便代
事務局運営費	2,480,000	2,288,222	事務所使用料、事務局員給料、かたつむり派遣等支払・他
国庫補助事業費	1,390,000	1,390,000	保護者研、ボランティア研、在宅重度障害児集団療育
社会福祉医療機構助成費	0	0	平成 18 年度は実施なし
事務用品費	180,000	144,190	封筒、消耗品、事務関係等
備品費	50,000	25,800	パソコン関連等
雑費	30,000	31,160	貸し金庫使用料等
予備費	49,684	0	
50 周年用別会計	0	200,000	全肢 P 連結成 50 周年大会用の口座へ
次年度繰越金	0	367,447	
合 計	8,938,684	8,928,659	

国庫補助事業費内訳

項 目	18 年度予算	18 年度決算	適 用	
国庫補助事業	保護者研修会	30,000	30,000	全国大会 (中部) 岐阜県立関養
		30,000	30,000	中国・四国ブロック 高知県立若草養 (土佐希望の家分校)
		30,000	30,000	東京 東京都立府中養
	ボランティア研修会	50,000	50,000	北海道・東北ブロック 札幌市立豊成養
		50,000	50,000	九州ブロック 長崎県立諫早東養
		400,000	400,000	北海道・東北ブロック 青森県立八戸第一養
	在宅重度障害児 集団療育事業	400,000	400,000	関東・甲越ブロック 東京都立光明養
		400,000	400,000	九州ブロック 熊本県立松橋養
		400,000	400,000	
	合 計	1,390,000	1,390,000	

特 別 会 計

平成 19 年度 50 周年記念大会のための積み立て	平成 15 年 3 月 27 日	200,000 円
利息	平成 16 年 2 月 23 日	1 円
平成 19 年度 50 周年記念大会のための積み立て	平成 16 年 3 月 18 日	200,000 円
利息	平成 16 年 8 月 23 日	1 円
平成 19 年度 50 周年記念大会のための積み立て	平成 17 年 3 月 24 日	200,000 円
利息	平成 17 年 8 月 15 日	1 円
平成 19 年度 50 周年記念大会のための積み立て	平成 18 年 3 月 30 日	200,000 円
利息	平成 19 年 2 月 21 日	7 円
平成 19 年度 50 周年記念大会のための積み立て	平成 19 年 2 月 22 日	200,000 円
合 計		1,000,010 円

決 算 報 告

上記のとおり平成 18 年度の収支決算を報告いたします。
平成 19 年 3 月 31 日

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会
会 長 江 本 緑 ①
会計・庶務 工 藤 明 子 ②

会 計 監 査 報 告

平成 19 年 6 月 7 日 監査を実施した結果、適正に処理されていることを認めます。
平成 19 年 6 月 7 日

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会
監 事 土 井 富 夫 ①
監 事 高 橋 史 ②

参加 18年12月7日(木)

於：国立オリンピック青少年総合センター（センター棟102研修室）

- 理事会の開催 第1回 5月19日(金)
第2回 7月13日(木)
第3回 10月12日(木)
第4回 19年2月2日(金)
於：ナーベルお茶の水
- 平成19年度特別支援教育関係予算編成等の要望書を加盟団体として提出（推進連盟が取りまとめ、要望書として国へ提出します）
- 就学啓発冊子(文科省依頼)「こどものニーズに合った教育的支援のために」編集会議
7月3日(月)・7月24日(月)・8月7日(月)
- (3) 社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団父母連絡会議等
 - 父母の会連絡会議 4月6日(木)
 - 平成18年度理事会・評議員会
5月22日(月)・11月14日(火)・19年3月22日(木)
- (4) 社会福祉法人 日本肢体不自由児協会
 - 「第25回日本肢体不自由児・者の美術展」開催への協力
 - 運営委員会 5月10日(水)・9月29日(金)
 - 審査会 10月18日(水)
 - 東京芸術劇場で常陸宮殿下のご臨席のもと表彰状および作品鑑賞 12月7日(木)

【全国肢体不自由養護学校PTA連合会賞の授与】
『絵画の部』
湯川みさと 神奈川県立平塚養 高等部2年
吉本源 弥 鹿児島県立鹿児島養 小学部2年
(敬称略)
- (5) 日本肢体不自由教育研究
 - 第30回記念日本肢体不自由教育研究大会へ出席
平成18年8月3日(木)～4日(金)
会場：タワーホール船堀
 - 総会 2月18日
 - 運営委員会 4月22日(土)、5月27日(土)、
6月24日(土)、9月29日(土)、
11月25日(土)、12月16日(土)、
1月20日(土)、2月17日(土)
- (6) その他
 - 第42回関東・甲越地区肢体不自由養護学校PTA連合会総会及び校長会合同研究協議会神奈川大会へ出席
7月30日(日)～31日(月)
 - 細村迪夫先生叙勲を祝う会へ出席 9月9日(土)
 - 岐阜大会と京都大会の引き継ぎ 10月23日(月)
於：財団内4階会議室
 - 鈴木峻先生叙勲を祝う会へ出席 11月15日(水)
 - 五味重春先生葬儀へ 12月24日(日)

8. 「全肢P連安心補償制度」加入状況

(元請会社 株式会社損保ジャパン)

平成18年度加入件数 851件
保険手数料 316,838円

9. 紙おむつ団体扱い購入の手数料について

リブドゥコーポレーション	60,461円
大王製紙(セイノー商事)	11,300円
計	71,761円

10. 関係友好団体への後援

- 第39回全国肢体不自由児・者父母の会連合会全国大会（第41回東北地区肢体不自由児・者父母の会連絡協議会石川大会 併催）
- 第30回記念日本肢体不自由教育研究大会
- 第42回関東・甲越地区肢体不自由養護学校PTA連合会総会及び校長会合同研究協議会神奈川大会
- 「第33回社団法人日本てんかん協会全国大会 in kyoto」（協賛名義）
- 第29回てんかん基礎講座（協賛名義）
- 第44回中部地区肢体不自由教育研究大会（長野大会）
- 医療的ケアオープンねっとわーく*神奈川主催
発表・講演・公開シンポジウム「教育としての医療的ケア」

11. 表彰者の確認と顧問の推薦

全国肢体不自由養護学校PTA連合会

会長 木村知鶴様

(東京都立小平養護学校PTA前会長)

平成17年度第48回全肢P連埼玉大会実行委員長

中根登紀子様

(埼玉県立越谷養護学校PTA会長)

なお、木村知鶴様は規約の第16条及び細則の第5条(2)、同6条(3)により総会において顧問の承認を得ました。

平成19年度事業計画

1. 総会及び研究大会

平成19年8月19日(日)～21日(火)

於：ウェスティン都ホテル京都^{ひあび}
(京都府京都市東山区三条蹴上)

主 題 『21世紀に生きる子どもたちの、生きがいと自立を支える特別支援教育・肢体不自由教育および社会づくりの推進のため、PTA活動はどうあればよいか』
《全肢P連結成50周年記念特別企画》

(1) 会員研修

《テーマ》「新しい支援の風を」

～障害者施策のこれからを考える～

(2) 記念講演

《内 容》「日本人の笑い」

～狂言～

(3) 全国肢体不自由養護学校PTA連合会結成50周年記念

《記念式典》

(4) 記念講演

《テーマ》「これからの特別支援学校の在り方」

(5) 分科会 「子どもたちをとりまくネットワーク」

第1分科会 「学校」

第2分科会 「地域」

- 第3分科会 「福祉」
- 第4分科会 「労働」
- 第5分科会 「医療」
- 第6分科会 「機器」

(6) 記念シンポジウム

「肢体不自由教育のこれまでとこれから」
～特別支援学校におけるPTAの役割を考える～

(7) 全体講評

2. 役員会

- (1) 平成19年8月19日(日)

於：ウエスティン都ホテル京都

- (2) 平成20年1月24日(木)

於：東京都立光明養護学校(予定)

3. 会報の発行

- (1) 第80号 会報 平成19年7月15日 20,000部発行
- (2) 第81号 会報 平成19年10月15日 20,000部発行
- (3) 第82号 会報 平成19年12月15日 10,000部発行
＜全国大会(京都大会)特集号＞

4. 全国心身障害児福祉財団事業

【国庫補助事業】

《保護者研修会》

本部
九州ブロック
東京都

《ボランティア研修会》

近畿ブロック
中国・四国ブロック

《在宅重度障害児集団療育事業》

中部ブロック
近畿ブロック
中国・四国ブロック

【社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団主催事業】

《競輪場を利用した地域指導者養成研修会》

5. 関係団体事業および行事への参加

- (1) 関係各省庁への陳情および会議などへの参加要請
- (2) 全国特別支援教育推進連盟理事会および行事への参加
- (3) 社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団父母連絡会議等への参加
- (4) 社会福祉法人 日本肢体不自由児協会
「第26回日本肢体不自由児・者の美術展」開催への協力
 - 運営委員会、審査会への参加ならびに全国肢体不自由養護学校PTA連合会賞の授与
 - 東京芸術劇場で常陸宮殿下のご臨席のもと表彰式および作品鑑賞
- (5) 日本肢体不自由教育研究運営委員会および大会
 - 第31回記念日本肢体不自由教育研究大会
- (6) その他
 - 各地区主催の肢体不自由養護学校PTA連合会・校長会合同研究協議会へ参加等
 - 関係団体の記念行事等の参加

6. 関係友好団体への後援

(東京都立小平養護学校前PTA会長)

木村 知鶴 様

第48回全肢P連「埼玉大会」実行委員会委員長

(埼玉県立越谷養護学校PTA会長)

中根 登紀子 様

7. 表彰状の確認と顧問の推薦



全国心身障害児福祉財団事業実施地区割り当て

年 度			平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
国庫補助事業	保護者研修会	3回	本 部 九 州 東 京	本 部 近 畿 東 京	本 部 関 東・甲 越 東 京	本 部 中 部 東 京	本 部 北 海 道・東 北 東 京
	ボランティアー研修会	2回	近 畿 中 国・四 国	関 東・甲 越 中 部	北 海 道・東 北 九 州	近 畿 中 国・四 国	関 東・甲 越 中 部
	在宅重度障害児集団療育事業	3回	中 部 近 畿 中 国・四 国	北 海 道・東 北 関 東・甲 越 九 州	中 部 近 畿 中 国・四 国	北 海 道・東 北 関 東・甲 越 九 州	中 部 近 畿 中 国・四 国

*当該年度の事業のブロック別分担は、定められた順番(上図参照)で進められており、ブロック毎に担当の学校を4月中旬頃に決定し、各ブロック事務局より本部事務局へ連絡をお願いしています。(財団へ提出する書類が5月中です)。

平成 19 年度 会 計 予 算

<収 入>

単位：円

項 目	18 年度予算	19 年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	293,134	367,447	
会 費	5,996,550	6,134,100	350 円×17,526 人 在籍児童生徒数（分担金）
日本自転車振興会補助金	859,000	859,000	日本自転車振興会補助金（会報第 82 号大会号 1,146,000 円の中の補助分）
国庫補助事業費	1,390,000	1,240,000	別掲内訳
社会福祉医療機構助成費	0	0	平成 19 年度は実施予定はありません
寄 付 金	0	0	
雑 収 入	400,000	400,000	保険手数料、オムツ手数料、利子等
合 計	8,938,684	9,000,547	

<支 出>

項 目	18 年度予算	19 年度予算	摘 要
会 議 費	400,000	400,000	大会 20 万円、役員会 5 万円×2、その他会議室代等
研 修 費	750,000	850,000	大会 50 万円、事務局大会参加費、関係団体研修等
会 報 費	2,000,000	2,000,000	80 号、81 号、82 号（大会報告集の補助分含む）会報代
関係団体分担金	139,000	139,000	推進連盟 91,000 円、美術展 40,000 円、日肢教研 8,000 円
渉 外 費	50,000	70,000	他団体祝い金、周年行事出席、香典・他
地 区 助 成 費	420,000	420,000	7 万円×6 ブロック
交 通 費	350,000	350,000	会長・事務局員大会参加費、一般交通費、会長他大会参加費
通 信 費	650,000	650,000	電話、郵券、会報郵送費、会費振込み代、宅急便代、他
事務局運営費	2,480,000	2,550,000	事務所使用料、事務局員給料、<かたつむり>派遣支払い
国庫補助事業費	1,390,000	1,240,000	別掲内訳
社会福祉医療機構助成費	0	0	平成 19 年度は実施予定はありません
事務用品費	180,000	180,000	封筒、消耗品、一般文書印刷・他
備 品 費	50,000	50,000	パソコン関連・他
雑 費	30,000	30,000	貸し金庫使用料・他
予 備 費	49,761	71,547	
50 周年用別会計	0	0	19 年度はなしとする。
合 計	8,938,684	9,000,547	

国庫補助事業費内訳

	項 目	18 年度予算	19 年度予算	適 用
国庫補助事業	保護者研修会	30,000	30,000	本部事務局
		30,000	30,000	九州ブロック 大分県別府養
		30,000	30,000	東京 東京都立八王子東養
	ボランティア研修会	50,000	50,000	近畿ブロック 神戸市垂水養
		50,000	50,000	中国・四国ブロック 徳島県立板野養
		400,000	350,000	中部ブロック 豊田市立豊田養
	在宅重度障害児 集団療育事業	400,000	350,000	近畿ブロック 大阪府立堺養
		400,000	350,000	中国・四国ブロック 鳥取県立皆生養
		400,000	350,000	
	合 計	1,390,000	1,240,000	

平成 19 年度 全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会役員

役職名	氏 名	所 属	ブロック	備 考
会 長	江 本 緑	東京都立光明養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	
副 会 長	池 田 敬 史	東京都立あきる野学園養護学校 校長	関 東 ・ 甲 越	全 肢 長 会 長
〃	東 ま す み	東京都立八王子東養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	都 肢 P 連 会 長
〃	石 川 聡	岩手県立盛岡養護学校 P T A 会長	北 海 道 ・ 東 北	ブ ロ ッ ク 長
〃	國 保 京 子	栃木県立わかくさ養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	ブ ロ ッ ク 長
〃	大 川 の り 子	静岡県立東部養護学校 P T A 会長	中 部	ブ ロ ッ ク 長
〃	黒 川 愛 子	京都市立呉竹総合支援学校 P T A 会長	近 畿	ブ ロ ッ ク 長
〃	小 林 整	京都府立向日が丘養護学校 P T A 会長	近 畿	大 会 実 行 委 員 長
〃	堀 本 恵 美	愛媛県立しげのぶ特別支援学校 P T A 会長	中 国 ・ 四 国	ブ ロ ッ ク 長
〃	益 満 尚 教	鹿児島県立皆与志養護学校 P T A 会長	九 州	ブ ロ ッ ク 長
理 事	江 本 緑	東京都立光明養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	
〃	池 田 敬 史	東京都立あきる野学園養護学校 校長	関 東 ・ 甲 越	
〃	東 ま す み	東京都立八王子東養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	
〃	石 川 聡	岩手県立盛岡養護学校 P T A 会長	北 海 道 ・ 東 北	
〃	藤 田 道 啓	岩手県立盛岡養護学校 校長	北 海 道 ・ 東 北	
〃	國 保 京 子	栃木県立わかくさ養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	
〃	藤 倉 新 一	栃木県立わかくさ養護学校 校長	関 東 ・ 甲 越	
〃	大 川 の り 子	静岡県立東部養護学校 P T A 会長	中 部	
〃	稲 葉 政 秋	静岡県立静岡南部養護学校 校長	中 部	
〃	黒 川 愛 子	京都市立呉竹総合支援学校 P T A 会長	近 畿	
〃	塩 野 泰 一	大阪府立東大阪養護学校 校長	近 畿	
〃	小 林 整	京都府立向日が丘養護学校 P T A 会長	近 畿	大 会 実 行 委 員 長
〃	岩 崎 豊	京都府立向日が丘養護学校 校長	近 畿	大 会 主 管 校 長
〃	堀 本 恵 美	愛媛県立しげのぶ特別支援学校 P T A 会長	中 国 ・ 四 国	
〃	黒 瀬 堅 志	岡山県立岡山養護学校 校長	中 国 ・ 四 国	
〃	池 田 里 志	岡山県立岡山養護学校 P T A 会長	中 国 ・ 四 国	次 期 大 会 実 行 委 員 長
〃	黒 瀬 堅 志	岡山県立岡山養護学校 校長	中 国 ・ 四 国	次 期 大 会 主 管 委 員 長
〃	益 満 尚 教	鹿児島県立皆与志養護学校 P T A 会長	九 州	
〃	川 野 正 則	鹿児島県立皆与志養護学校 校長	九 州	
評 議 員	松 坂 貴 子	札幌市立北翔養護学校 P T A 会長	北 海 道 ・ 東 北	
〃	伊 藤 俊 視	札幌市立北翔養護学校 校長	北 海 道 ・ 東 北	
〃	北 島 日 和	東京都立江戸川養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	
〃	保 坂 博 文	山梨県立あけぼの支援学校 校長	関 東 ・ 甲 越	
〃	小 久 保 真 由 美	愛知県立豊橋養護学校 P T A 会長	中 部	
〃	杉 浦 隆 久	愛知県立港養護学校 校長	中 部	
〃	松 原 洋 子	川西市立川西養護学校 P T A 会長	近 畿	
〃	重 光 豊	京都市立呉竹総合養護学校 校長	近 畿	
〃	岡 村 利 子	山口県立防府養護学校 P T A 会長	中 国 ・ 四 国	
〃	長 谷 川 史 成	山口県立防府養護学校 校長	中 国 ・ 四 国	
〃	大 城 尚 美	沖縄県立鏡が丘養護学校 P T A 会長	九 州	
〃	横 山 久	沖縄県立鏡が丘養護学校 校長	九 州	
監 事	濱 川 浩 子	東京都立墨東養護学校 P T A 会長	関 東 ・ 甲 越	
〃	中 原 理 晴	東京都立北養護学校 校長	関 東 ・ 甲 越	
事 務 局 長	佐 竹 京 子	全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会事務局内		
事 務 局 員	工 藤 明 子	全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会事務局内		

全肢P連顧問名簿

氏名	役名
埜野 兪	S 50 年度～S 53 年度 会長（都立光明）
西端 工	S 56 年度～S 57 年度 会長（都立城南）
前田 清	S 58 年度～S 59 年度 会長（都立光明）
高本 和昌	S 63 年度～H 2 年度 会長（都立城南）
永島 弘子	H 3 年度 会長（都立北）
谷口 篤	H 8 年度～H 12 年度 会長（都立北）
佐竹 京子	H 13 年度 会長（国立筑波大附属桐が丘）
村上 節子	H 14 年度～H 15 年度 会長（都立城北）
木村 知鶴	H 16 年度～H 17 年度 会長（都立小平）
中島 秀夫	S 54 年度～S 58 年度 全肢長会長
三浦 和	S 61 年度～H 元年度 全肢長会長
青柳 勝久	H 4 年度～H 5 年度 全肢長会長
鈴木 峻	H 6 年度～H 8 年度 全肢長会長
林 友三	H 9 年度～H 11 年度 全肢長会長
今里 勉	H 12 年度 全肢長会長
飯野 順子	H 13 年度 全肢長会長
能瀬 廉英	H 14 年度 全肢長会長
伊東 光雄	H 15 年度～H 16 年度 全肢長会長
福地 周一	元今津養護PTA会長

早瀬 俊夫 H 19 年 6 月 23 日ご逝去	S 47 年度 全肢長会長
石川 昌次 H 19 年 9 月 22 日ご逝去	S 59 年度～S 60 年度 全肢長会長
西村 悠夫 H 18 年 3 月 8 日ご逝去	S 54 年度～S 55 年度 会長（都立江戸川）
有田 孝 H 16 年 3 月 23 日ご逝去	S 60 年度～S 62 年度 会長（都立大泉）
鈴木 盛雄 H 17 年 6 月 21 日ご逝去	H 4 年度～H 7 年度 会長（都立光明）

**TOTO「バスリフト」は
電動シートが昇降し、
浴槽での立ち座りや
出入りをサポート致します**

TOTOバスリフト

<商品の特徴>

- ①浴槽での立ち座りや出入りをサポートします。電動シート部分が昇降するため、入浴介助の負担も軽減します
- ②本体は浴槽リムに乗せて内側に突っ張るだけなので簡単に取り付けられます
- ③シートは着脱できますので、ご家族の入浴にも差し支えありません



希望小売価格：¥298,000（税込み¥312,000）

- 商品情報、お近くのショールーム情報などは
TOTO ホームページをご覧ください

<http://www.toto.co.jp/>

- 商品のお問い合わせ・ご相談はお客様相談室へ
フリーダイヤル 0120-03-1010

受付時間：平日 9:00～18:00
土日祝日 10:00～18:00

※夏期休暇・年末年始を除く

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会規約

第一章 名 称

第 1 条 この会は全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会といい、事務所を当分の間次の定める場所におく。
東京都新宿区西早稲田 2 丁目 2 番地 8 号
社会福祉法人全国心身障害児福祉財団

第二章 目的及び活動

第 2 条 この会は肢体不自由養護学校 P T A 相互の協調をはかるとともに、全国における肢体不自由教育の向上発展を促進することを目的とする。

第 3 条 この会は前条の目的をとげるために次の活動をする。

1. 各単位 P T A の連絡、協調につとめ、会員相互の親睦を図る。
2. 肢体不自由者の福祉増進につとめる。
3. 肢体不自由教育の発展向上を促進する。
4. 肢体不自由教育費を拡充することにつとめ、またこの教育に関する諸法規の整備に協力する。
5. その他この会の目的を達するために必要な活動をする。

第三章 方 針

第 4 条 この会は教育を本旨とする民間団体であって、次の方針に従って活動する。

1. この会の目的を達するために、他の団体及び機関と協力する。
2. 特定の政党や派にかたよることなく、またもっぱら営利を目的とするような行為は行わない。

第四章 構 成

第 5 条 この会の会員は全国の肢体不自由養護学校の単位 P T A とする。

第 6 条 この会を構成する単位 P T A は分担金を納めるものとする。

第 7 条 この会を構成する単位 P T A は平等の義務と権利を有する。

第五章 役 員

第 8 条 この会に次の役員を置く。

1. 会 長 1 名

1. 副会長 若干名
1. 理 事 19 名以内
1. 監 事 2 名
1. 評議員 12 名

第 9 条 会長および副会長は理事会において互選し総会の承認を受ける。

第 10 条 理事は各ブロックの会員の推薦により各 2 名宛選出する。
但し、ブロックに関係なく在京の会員より 1 名、大会開催関係都道府県より 4 名以内を選出する。

第 11 条 評議員は、各ブロックの会員の推薦により 2 名宛選出する。

第 12 条 監事は理事、評議員以外の会員中より総会において選出する。

第 13 条 役員は任期は 1 年とする。但し、重任を妨げない。

第 14 条 役員は次の通りとする。

1. 会長は本会を代表し、会務を総覧する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。
3. 理事は会長・副会長を補佐し、会務を処理する。
4. 評議員はこの会の重要事項を審議する。
5. 監事はこの会の経理を監査する。

第 15 条 この会に事務局を設ける。事務局は、事務局長・庶務・会計各 1 名をもって構成し、人事は理事会にはかり、会長が委嘱する。

第 16 条 理事会の推薦により顧問をおくことができる。

第六章 会 議

第 17 条 総会はこの会の最高決議機関であり、事業報告・決算の承認、事業計画・予算の審議及び承認、役員承認ならびに規約の改正、その他重要事項を審議する。

第 18 条 総会は、定期総会及び臨時総会とする。
1. 定期総会は毎年 1 回開催する。
2. 会長が必要と認めるとき、または会員の 1/3 以上の要求があったとき臨時総会を開く。

第 19 条 総会は会員の過半数の出席を以て成立

し、決議は出席者の 2/3 以上の同意を必要とする。

第 20 条 理事会は必要に応じて開き、会長はこれを招集する。

第 21 条 理事会は、次のような会務を処理する。
1. 本会の重要事業を企画審議する。
2. 総会に提出する報告書の議案を作成する。

第 22 条 評議員会は必要に応じ随時開き、会長はこれを招集する。

第 23 条 評議員会は次のような事項を審議する。
1. 総会及び理事会から委嘱された事項の審議。
2. その他必要な事項。

第七章 経 理

第 24 条 この会の経費は分担金、寄付金及びその他の収入によって支弁する。

第 25 条 単位 P T A の分担金は、別に定める規定により毎年 5 月に納入する。

第 26 条 この会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年の 3 月 31 日に終わる。

第八章 付 則

第 27 条 この規約は総会の議決を経なければ変更することはできない。

第 28 条 この会の運営に関しては、別に細則を定める。

第 29 条 本規約は昭和 40 年 5 月 25 日より実施する。

第 30 条 本規約は昭和 50 年 8 月 21 日より一部改正する。
本規約は昭和 60 年 8 月 23 日より一部改正する。

本規約は昭和 61 年 8 月 27 日より一部改正する。

本規約は平成元年 8 月 24 日より一部改正する。

本規約は平成 4 年 8 月 21 日より一部改正する。

本規約は平成 6 年 8 月 23 日より一部改正する。

本規約は平成 18 年 8 月 21 日より一部改正する。

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会細則

第 1 条 規約第 25 条に定める単位 P T A の分担金は、当分の間児童生徒一人あたり、年額 350 円の割とする。
但し、特別の事情のある場合は免除又は減額することができる。

第 2 条 当分の間、ブロックは次の通りとする。「北海道・東北」「関東・甲越」「中部」「近畿」「中国・四国」「九州」

第 3 条 各ブロックより選出される理事及び評議員は、それぞれ父母側 1 名、教師側 1 名とする。

第 4 条 本会と緊密な関わりのある関係諸団体など、または、個人に対する慶弔または志寸などは、その都度、会長が副会長および事務局長にはかり決定する。

第 5 条 規約第 16 条における顧問は、原則と

して次の基準によって推挙するものとする。

- (1) 本会の会長歴任者
- (2) 全国肢体不自由養護学校長会長歴任者

第 6 条 本会は総会において次の表彰を行う。

- (1) 本会の会長が退任したとき(感謝状)
- (2) 本会ならびに全国肢体不自由養護学校長会合同研究大会(全国大会)開催主管校の P T A 会長(感謝状)
- (3) 全国肢体不自由養護学校長の歴任者が、本会の副会長を退任したとき
- (4) その他、役員会が推薦するもの

第 7 条 本細則は昭和 40 年 5 月 25 日より実施する。

第 8 条 本細則は昭和 53 年 8 月 8 日より一部改正する。
本細則は昭和 55 年 8 月 21 日より一部改正する。

本細則は昭和 56 年 8 月 27 日より一部改正する。

本細則は昭和 61 年 8 月 27 日より一部改正する。

本細則は平成 2 年 8 月 23 日より一部改正する。

本細則は平成 8 年 8 月 22 日より一部改正する。

大会宣言文を国の関係機関に提出

9月7日(金)文部科学省初等中等局特別支援教育課へ50周年記念「京都大会」の後援ならびにご出席のお礼を兼ねて、「大会宣言文」をお届け致しました。下山直人調査官のご配慮により、特別支援教育課の永山課長、新谷企画官、他の皆さまに江本緑会長より直接、お渡しすることが出来ました。また、50年史を同様にお渡し致しました。

同日、厚生労働省社会・援護局障害福祉課へお伺いし、茅根孝雄専門官のご配慮を頂きまして、蒲原課長へ大会宣言文をお渡し致しました。また、記念式典にご出席頂き、会員研修の講師も務めていただきました。藤木企画課長は総務課長へと異動(8月末)になりまして、茅根専門官とご一緒に総務課まで大会宣言文を持参し、大会ご出席のお礼を申し上げることが出来ました。

同じく、職業安定局障害者雇用対策課では市川浩樹専門官からご紹介を頂きまして、吉永新課長へ大会宣言文を持参し、大会ご出席のお礼を申し上げます。

そして、10月12日(金)には、全国特別支援教育推進連盟の第三回理事会の席上、江本緑会長から、京都大会への三浦和理事長のご出席のお礼を申しあげました。同理事会へご参加の関係団体の皆さまにも「50周年記念京都大会」終了の報告を致しました。

大会宣言文

我が国の特殊教育は昭和22年に制定された学校教育法に「特殊教育の章」が設けられ、その後、昭和33年の養護学校整備特別措置法を経て、盲・聾・養護学校は着実に整備されてきました。

昭和54年には養護学校教育の義務制が施行され、「すべての障害児に学校教育を」という願いが達成されました。

本年4月1日には、「改正学校教育法」が実施となり、これにより、60年に及んだ特殊教育は特別支援教育へと質的転換を図ることになりました。特別支援教育の理念とは、障害や困難のある幼児・児童・生徒の自立と社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めるため、普通教育と特殊教育が一体となって、適切な指導および支援を行うことにあります。

これからは、盲・聾・養護学校は障害種別に捉われない特別支援学校として、その専門性を基盤とし地域の幼・小・中・高等学校の各学校に在籍する障害や困難のある児童生徒への支援を担う役割を果たしていくことが必要です。

また、福祉・労働・医療等、関係機関と一層強固なネットワークを構築し、協働して「個別の支援計画」を策定するとともに障害のある者となない者が互いに支え合う共同・共生の社会を目指し、これまで以上の理解啓発・充実に努めることが大切です。

本年、全国肢体不自由養護学校PTA連合会は結成50周年を迎えました。この度、全国肢体不自由養護学校PTA連合会

ならびに全国特別支援学校肢体不自由教育校長会は8月19日・20日・21日の3日間、京都府京都市において、結成50周年記念PTA・校長会合同研究大会『京都大会』を開催し、「21世紀に生きる子どもたちの、生きがいと自立を支える特別支援教育・肢体不自由教育および社会づくりの推進のため、PTA活動はどうあればよいか」を主題に研究協議を重ねてまいりました。

本研究大会において、共通理解に至った以下の重点事項を挙げ、関係するすべての機関が協力し、子どもたちの幸福な未来を実現していくことを、ここに宣言いたします。

- 乳幼児期から生涯に渡り、教育・福祉・医療・労働等の各関係機関が協力し、児童生徒の一人一人のニーズに応じた「個別の支援計画」を策定し、計画の実施、評価を通して、障害の多様化・重度重複化に対応する特別支援教育の充実に努めていきます。
- 肢体不自由教育校が地域において、「特別支援学校」として幼・小・中・高等学校への巡回指導などが実施できるセンター的機能の充実に努めていきます。
- 肢体不自由教育校がその教育の専門性をさらに生かし、地域のセンター校として、幼・小・中・高等学校に支援を進めるための相談機能体制を充実させていきます。
- 特別支援教育制度への財源の確保、教員の定数配置、特別支援教育コーディネーターの配置を早期に実現していきます。
- 特別支援学校として教育を一層充実するため、障害に応じた知識・技能・経験や自立活動の専門性を備えた教職員を確保するとともに、OT・PT・ST等の専門職の配置を進めていきます。
- 障害のある子ども達と障害のない子ども達が居住地域での交流および共同学習等を通して共に理解し合い育ち合う基盤づくりを進めていきます。
- 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所における肢体不自由教育の専門的な研修等の積極的な推進と、特別支援教育コーディネーターの資質の確保、教員の専門性・資質の向上を図っていきます。
- 特別支援学校における医療的ケア実施体制整備事業を踏まえた体制整備(厚生労働省:平成16年10月通知)を踏まえた看護師の配置を進めていきます。
- 医療的ケアを必要とする児童生徒の安全・衛生面の管

理、及び特別支援学校における医療的ケア実施体制整備事業を踏まえた体制整備をともに協力して進めていきます。

- 情報機器（パソコン等）の整備と機器の開発（ソフトウェアを含む）および肢体不自由児・者のためのコミュニケーション支援・就労支援など機器を活用したIT指導の充実を図っていきます。
- 卒業後の自立や社会参加に向けて「個別の移行（就労）支援計画」を作成し、教育・労働関係機関等が連携し、就業支援を促進していきます。
- 障害のある児童生徒が等しく教育を受ける権利を確立するために、義務教育国庫負担制度及び就学奨励費制度とその財源の確保を進めていきます。
- 社会参加や自立生活がしやすいように「障害者自立支援法」を見直し、地域生活を支える障害福祉サービスを利用する障害児・者ならびに家族の経済的負担の軽減を進めていきます。
- 重症心身障害児・者の通所・通園事業を促進し、医療的ケアの必要な障害児・者も地域で生活ができるよう、サービス事業の整備を進めていきます。

○ 障害のある者が社会参加や自立生活ができるよう、「障害者自立支援法」に基づく福祉制度の充実と利用者本位の福祉サービス等の環境の整備を進めていきます。

- 公共の施設において障害のある者もない者も施設を利用しやすいようにバリアフリー化に向けた具体的な施策を促進していきます。

平成19年8月21日

全国肢体不自由養護学校PTA連合会
全国特別支援学校肢体不自由教育校長会



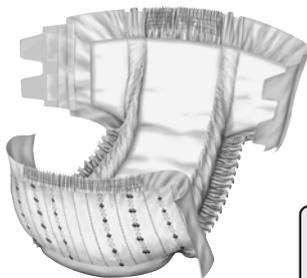
リブドゥ テープ止めタイプ ジュニア

ベビー用より大きく大人用より小さいサイズ

スキマのモレをガードします

ヒップサイズ

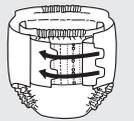
50cm~80cm



- 身体の丸みにあわせたカタチ
- 左右に広げた立体ギャザー
- 前後のしっかりガードギャザー
- 強度のある粘着テープ

優れたポイント

ヒップサイズが小さい方には、白いテープの上に重ねてつけられるので、より身体にフィットします。



消臭ポリマー配合



はくパンツ® 男女兼用

ジュニア

ベビー用より大きく大人用より小さいサイズ

やわらかくはきやすい

ウエストサイズ

45cm~60cm



- ゆったりソフトギャザー
- 股下すっきり
- 横モレ防止ギャザー
- 全面通気性シート
- 前後がわかりやすい

消臭ポリマー配合

サンプル請求／宅配購入を、ご希望の場合は まごころサポート フリーダイヤル **0120-062-055**

お申し込みの際「養護学校生」とお伝えください。

●テープ止めタイプジュニア1袋(34枚入)…2,780円 ●はくパンツジュニア1袋(24枚入)…1,980円 ※いずれも消費税込み

商品、試供品に関するお問い合わせは(株)リブドゥコーポレーション マーケティング部 フリーダイヤル:0120-271-361



株式会社リブドゥコーポレーション 〒541-0048 大阪市中央区瓦町1丁目6番10号

新設校・新加入校紹介

本年度は、神奈川県、茨城県に肢体不自由養護学校が新たに設置され、また岡山県から1校が新たに加入されました。どうぞよろしくお願い致します。

神奈川県立麻生養護学校

インクルージョンをめざす

平成18年4月に開校した神奈川県立麻生養護学校は、肢体不自由と知的障害両部門を併置した児童生徒数238名の学校です。

麻生養護学校は、一言で言えば「インクルージョンをめざす学校」です。この理念を具体化する学校は、様々なニーズのある人々を支え合い包み込むために地域社会を変革する明確な目的を持った学校としての活動を行っています。児童生徒が地域社会に出て多くの人と触れあったり、地域の人々が本校との協働に積極的に関わる機会を設けたりしています。

具体的には、地域貢献の日を週一回設定して、例えば高等部の作業学習の成果を持って地域の人々を訪問したり、清掃活動等を行っています。また地域人権支援センターを立ち上げ、様々な人権問題の相談を受け、人権研修会を行い、地域の人権意識の高揚を図り、ボランティア養成講座や障害理解教育の公開講座は地域住民を対象に、また地域の教育機関や施設等関係機関の職員を対象にした障害児教育専門講座を開催しています。さらに地域ネットワーク協議会の充実を図り、地域の諸問題を積極的に担う学校づくりをめざしています。地域支援センターの看板を玄関に掲げ、地域支援担当を4名配置して近隣諸学校等への支援を行い、地域の学校変革を目指しています。

また、「授業づくり」を最重要課題として捉え、組織のスリム化を図って毎日ケース会を持つことや全員が年一回行う研究授業、また教員の定期的な学習会（週一回）や教材教具づくりに取り組んでいます。高等部には県立学校として初めてのコース制を導入して、一人ひとりのニーズに合わせた教育活動を行っています。

(校長 鈴木文治)



茨城県立つくば養護学校

新加入の学校です

今年度から、全肢P連の新メンバーとなりました茨城県立つくば養護学校です。よろしくお願いいたします。

本校は、茨城県の県南地域から下妻養護学校へ通学する児童生徒の通学時間短縮と、土浦養護学校（知的障害）の過密解消を図るために新設された学校で、茨城県としては初めての知肢併設型の特別支援学校です。

つくば市の東部に位置し、周囲は緑豊かで、関東の名峰筑波山の姿も望める景観の良いところながら、TXのつくば駅から車で10分、筑波大学等が近いという好条件です。採光に工夫を凝らした校舎は、明るく、バリアフリーが徹底されており、冷暖房完備という恵まれた施設設備でもあります。

通学区域は、知的（つくば市のみ）、肢体（つくば市を含む11市町村）ですが、児童生徒数212名のうち8割はつくば市在住という地域密着度の高い学校です。

研究学園都市つくば市の地の利を生かし、大学や病院等との連携協力体制を築き、教員がより高い専門性をもつよう努めるとともに、それらを土台に児童生徒への教育活動を効果的なものにと考えております。また、本校のセンター的機能を充実させ、地域に貢献できるようにしたいと願っています。児童生徒、保護者、教員、地域の方々の中に、たくさんの笑顔が見られる学校を目指し、頑張っているところです。

開校したばかり、知肢併設ゆえの難しさも抱えながらの学校運営であり、他校に学ぶところが多いのが実情です。これを機会に、皆様方には、いろいろとご教示くださいますようお願いいたします。

(校長 狩谷重男)



岡山県立誕生寺養護学校

動きの見える元気な学校をめざして

本校は、県立としては初の知的障害養護学校（小・中学部）として昭和46年に開校しました。漸次、高等部設置、訪問教育開始となり、肢体不自由部門が設置されたのは、平成15年度からです。県中部から北東部を中心とする学区は、四国の香川県全体の面積とほぼ同じで、肢体不自由教育については、県北では唯一の特別支援学校です。

職員の姿勢として、常にチャレンジ精神を持って、フットワーク軽く、できるところから一歩ずつチームワークで改善していくことをモットーにしています。そして、保護者や地域、福祉や医療、行政や労働などの関係機関とのネットワークを大切にして、開かれた学校づくりに取り組んでいます。とにかく「動きの見える学校」にしていくために、全職員が、教育活動に日々励んでいます。

併置の利点を生かして、肢体不自由部門と知的障害部門との交流や共同学習、小・中・高等部の連携などを積極的に進めています。さらに本校が位置する地域の方々との熱い交流が以前から累々と続いており、毎年大きな感動をいただいています。また、特別支援教育のセンター的機能の充実・発展を図るために、職員の自己啓発や相互研修にも力が入っています。

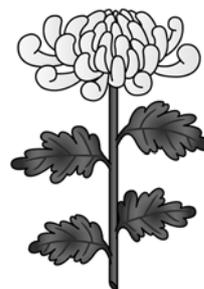
生徒の卒業後の就労に関しては厳しいものがありますが、ネットワークの拡大やその活用により、生徒が豊かな生活と積極的な社会参加ができるように、支援のための知恵や力を出し合いたいと思いますし、また、感性豊かなPTAや外部の方々の貴重な提言を、活力ある学校づくりに是非生かしていきたいと思っています。

(校長 岡部 初江)

《高円宮家へ御礼》

9月6日(木)に、江本緑全肢P連会長（東京都立光明養護学校PTA会長）と池田敬史全肢長会長（東京都立あきる野学園養護学校長）と佐竹事務局長とで、記念式典にご臨席いただきました高円宮妃殿下へお成の御礼ならびに記帳をさせて頂きました。

なお、杉山宮務官へ記念大会要項と50年史をお渡し江本会長より、大会終了の御礼申し上げます。同様に宮内庁宮務課へも50年史を贈呈致しました。



【訃報】

当会顧問の石川昌次先生（昭和59年～60年全肢長会長）が本年9月22日に御逝去されました。心より御冥福をお祈りいたします。合掌

全国肢体不自由養護学校PTA連合会
全国肢体不自由養護学校長会 推薦

お子さまのための 全肢P連安心補償制度

【補償内容】

- ①死亡保険金 ②ケガによる入院保険金 ③ケガによる通院保険金 ④育英費用 ⑤損害賠償補償
- ⑥葬祭費用（ご親族が負担された疾病や傷害で万が一の時（ご契約後発病）の葬儀費用を実費でお支払いします。）
- ⑦セカンドオピニオン アレンジサービス（より良い医療を選択するために、主治医以外の医師に現在の診断に対する見解や今後の治療方針、方法について意見を聞く事ができます。）
- ⑧マイホームドクター24（ご加入の方とご家族対象に、補償期間中いつでも電話一本で、医師・看護師による医療・健康・ストレス相談が無料で受けられます。）

【年間制度掛金】Aプラン12,000円 ・ Bプラン9,000円 ・ Cプラン6,000円

詳しくは全肢P連ホームページまでアクセスして下さい <http://www.zsp.jp/>

お問い合わせ・事故の報告は 全肢P連安心補償制度事務局

〒162-0051 東京都新宿区西早稲田2丁目2番8号 TEL:0120-313-186

FAX:0120-090-027

1年を通じてお申し込みができますので、お気軽にお電話ください！

制度引受保険会社：A I U保険会社



【全肢P連 50年史】の発刊についての御礼

平成19年度全肢P連結成50周年記念「京都大会」を記念して、「全肢P連50年史」を作成しました。

作成、編集にあたっては平成17年に編集委員会を立ち上げまして、全肢P連の活動に関わってこられた、歴代の文部科学省調査官の皆様ならびに全国特別支援教育推進連盟理事長、全肢長会長の校長先生方と私たち保護者（顧問含む）が委員となりまして、編集作業にあたりました。

原稿の依頼や作成、歴史などについても調べまして、この度の発刊に至りました事、編集委員の皆さまのご努力に本当に感謝申し上げます。

50年史はこの度の京都大会へご参加いただいた全国の皆さまに、参加記念として進呈しました。この他に、全国の特別支援学校（盲・聾・知的障害・肢体不自由・病弱）へ1冊ずつ進呈し、また国会図書館、関係団体、関係機関にお届けしました事をご報告いたします。

発刊につきましては全国の皆様のご理解とご協力の賜であり、編集委員一同、感謝申し上げます。有難うございました。

全肢P連50年史編集委員長 木村知鶴
(東京都立小平養護学校元PTA会長)

全肢P連「50年史」正誤表

平成19年9月現在

誤	正
<p>P.103 平成9年度「東京大会」*東京都立小平養護学校 平成17年度「埼玉大会」*埼玉県立川島ひばりが丘養護学校 *全国大会と共催</p>	<p>平成9年度「総会」 平成17年度「総会」 *総会のみ開催</p>
<p>P.271 全国肢体不自由養護学校PTA連合会 歴代会長名簿 第15代 木村知鶴 昭和16年度～17年度 第16代 江本 緑 昭和18年度～現在</p>	<p>第15代 木村知鶴 平成16年度～17年度 第16代 江本 緑 平成18年度～現在</p>
<p>P.274 全国肢体不自由養護学校長会 歴代会長名簿 第6代 中島秀夫 昭和54年度～昭和53年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立光明養護学校） 第10代 青柳勝久 平成4年度～平成5年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立光明養護学校）</p>	<p>第6代 中島秀夫 昭和54年度～昭和53年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立小平養護学校） 第10代 青柳勝久 平成4年度～平成5年度 全国肢体不自由養護学校長会長（東京都立北養護学校）</p>

＝編＝集＝後＝記＝

全肢P連結成50周年を迎え、総会も50回を数えました。本年の総会は記念式典などの例年にない行事が合った為、総会は役員会と同日に行なわれました。役員会には各ブロックを代表し、ブロック長のPTA会長さんと校長先生方が参加されました。ご多忙の中、有難うございました。

只今、記念大会の様子などを全肢P連HP「<http://www.ZSP.jp/>」に更新の準備をしております。この会報の発送の頃には更新が済みまして、ご覧いただけるかもしれません。

なお、記念大会へは大勢の保護者、教職員の皆さまにご出席いただきました。平成20年度は《第51回岡山大会》になります。
(事務局長 佐竹京子)

